

JICA 中小企業・SDGsビジネス支援事業の採択案件決定 RPF 燃料でエチオピアのごみ問題軽減目指す 有限会社タナベ（帯広市）

国際協力機構（JICA）では、中小企業・SDGsビジネス支援事業（2019年度第1回募集）の案件審査を終了し、合計100件の採択を決定しました。本事業は、日本の中小企業の製品・技術の途上国での活用可能性の調査・実証を通し、中小企業の海外展開と途上国の開発促進を目指すものです。

道東からは「中小企業・SDGsビジネス支援事業 案件化調査（中小企業支援型）」において

有限会社タナベ（帯広市／田邊 宏 代表取締役社長）が提案する「可燃廃棄物の代替燃料化を通した廃棄物削減・適正処理の案件化調査」（エチオピア）が採択されました。



エチオピアのパートナー企業候補



RPF 燃料



放置されたごみ（アジサアババ市）

エチオピアでは、廃棄物が適切に処理されず、埋立地は飽和状態です。ごみ山の崩落により多くの死者が出るなど、廃棄物の減量と再利用の検討が急務です。有限会社タナベでは、紙、木材や廃プラスチックから、RPF 燃料（ペレット）を製造。重油の代替燃料として製紙工場などで活用されています。

同社の提案する、エチオピアでの「可燃性廃棄物の代替燃料化」は、これまで有効活用されてこなかった可燃性廃棄物の再利用によって、エチオピアのごみ減量化、重油等の節減、さらに、RPF 燃料の製造を通して、産業人材の育成を目指すものです。

本件は今後の契約交渉を経て契約締結後、エチオピア・アジサアババ市において、RPF 燃料の製造と活用可能性について、調査を実施します。

【関連リンク】

各スキーム概要 https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

有限会社タナベ <http://tanabe-recycle.com/>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 北海道センター（帯広） 担当：木村、林
 TEL：0155-35-1210 FAX：0155-35-1250
 e-mail：Hayashi.Kana@jica.go.jp

JICA 北海道（帯広）ウェブサイト
<https://www.jica.go.jp/obihiro/>